

令和4年度 第2回
栃木西部地域会議会議録

令和4年5月17日(火)
栃木市寺尾公民館大交流室

栃木西部地域まちづくりセンター

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第2回栃木西部地域会議
開催日時	令和4年5月17日(火) 19時 開会 20時32分 閉会
開催場所	寺尾公民館 大交流室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p>1 開会</p> <p style="text-align: center;">—— 開会 ——</p> <p>2 あいさつ</p> <p style="text-align: center;">— 寺内会長あいさつ —</p> <p style="text-align: center;">—皆川公民館長あいさつ —</p>
事務局	<p>3 情報提供</p> <p>(1) (仮称)第2次栃木市総合計画基本構想(素案)に関するパブリックコメントの実施について</p> <p>〈説明〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から令和4年度にかけて策定するスケジュール。 ・地域会議には現総合計画に記載のある地域重点事項に関して意見照会をした。いただいた意見は基本計画の部分に反映させていきたい。 ・必ず人口が減っていく中で持続可能なことを考えなければいけない時期に来ている。未来の制約を受け入れるということ。新たな視点としてバックキャスト思考を導入する。 ・将来の都市像を「豊かな自然と共生し 優しさと強さが調和した 活力あふれる栃木市」と設定。 ・土地利用構想において、新しく「スポーツ交流ゾーン」を設定。 ・4月27日から5月26日までパブリックコメントを実施する。 <p style="text-align: center;">—— 総合政策課より資料1に基づき説明 ——</p>

委員 A	<p>バックキャストの考え方はどこからきているのか。総合政策課で考えたものなのか、どこかに雛型があったのか。</p>
総合政策課	<p>総合政策課で考えている。バックキャスト自体はアメリカにおいて1900年代から環境部門で推奨されている考え方。</p> <p>今までの栃木市は「ゴーキャスト思考」のものが多かった。人口減少に対して施策を打ち出す時に、どちらかといえば人口を増やそうという施策だった。</p> <p>しかし、人口減少が近い将来であることを見据えながら、持続可能な街づくりをしていかなければいけない中で、「バックキャスト思考」という新たな視点を取り入れた。</p>
委員 A	<p>バックキャスト思考とは、現状をあまり考慮しないで未来を予測する方法なので失敗もありうるのが欠点。</p> <p>言葉に囚われず誰もが分かる形にしないと絵に描いた餅になってしまうので、まずは市民の方・一般の方に認知されるよう、かみ砕いて説明して欲しい。</p>
総合政策課	<p>将来的に持続可能なまちづくりをする上で取り入れていかなければいけない視点であるので、栃木市として大きく打ち出している点をご理解いただきたい。</p> <p>これからどう反映していくかは、それぞれの担当で施策を考えている。</p> <p>秋口に説明する際には、できるだけ皆様に理解していただけるところまでもっていきたい。</p>
会長	<p>(資料1-P28) まちづくりの課題として7項目が挙げられているが、今後、地域の方々となにが問題なのか、なにが必要なのかといった点を話し合う場があるのか。</p>
総合政策課	<p>今回は骨格の部分である。それぞれの事業を大きく括った時にはまちづくりの課題はこういうものがある、ということを書いている。</p> <p>それらの課題をクリアするため、それぞれの部局で打ち出していく施策(事業)を積み上げている。</p> <p>それらが積みあがったものについて、秋口にお示しできるのではないかと考えている。</p>
委員 B	<p>(資料1-P42,P43) 単位施策は抽象的に見えるが、それぞれをどこかの部署、どこかの課に割り振るのか。</p>
総合政策課	<p>それぞれの課だけでやるわけではなくて、その目標に向かって必要な部局が紐づいており、今やらなければならないことを横断的に事業展開していく。</p>
委員 B	<p>単位施策のあとに具体的な項目があるということか。これだけでは抽象的で</p>

総合政策課	<p>分からないのでは。</p> <p>今、作業を進めている最中であり、秋口に細かなものがある程度出たところをお見せできると思う。今回は浸透を図るために途中経過を説明したもの。</p> <p>最終的には令和4年度中に議会の議決を取り、第2次総合計画を作り上げるというスケジュールになっている。</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 令和5年度実施 地域予算提案事業案について</p> <p>〈説明〉</p> <p style="text-align: center;">—— 資料2に基づき説明 ——</p>
副会長 A	<p>〈吹上地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃木西部熟くり塾の開催 <p>まちづくりの基本である人づくりを進めるための勉強を開催したい。</p>
副会長 B	<p>〈皆川地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆川公民館への案内看板の設置及び既存看板の修復 <p>他地域から来る方から皆川公民館の場所が分からないという話をよく聞く。看板が古くなっていることが原因と思われる。道路改良に伴い、別ルートからのアクセスもしやすくなっているので、新規に設置もしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードバイク等で皆川地区内に来た方が休憩・見学時に使用する自転車のスタンド及び空気入れの設置 <p>皆川地区はロードバイクに乗っている人を良く見かける。スタンドが設置されれば、そこに立ち寄る方が増え、交流が広げられるのでは。</p> <p>永野川緑地公園や皆川城址公園が良いのでは。コンビニエンスストアにあると便利だが、民間企業には難しいか。</p>
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・皆川地区の各自治会名及び字名の案内板の設置 <p>昨年度も案を出したもの。昨年に引き続き希望したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練（安全体験）の開催 <p>起震車を使ってはどうか。</p>
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の場所を巡るハイキングコースやサイクリングコースのマップ作成 <p>既存のパンフレットよりも分かりやすいものを新しく作成し、皆川地域に来てくれた人がもっと地域のことを知ってもらえるような広報活動ができるとよいのではないか。</p>

副会長 B	<p>サイクリングコースができるなら、自転車のスタンドと合わせてやりたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆川地区の関連資料の購入 皆川地区の歴史を語れる人が少なくなっている。若い世代が自分の地元を知ることができるような資料を公民館等に設置できれば良い。 ・道路の縁石や側溝の草刈りをするための草刈りの道具購入及び草刈りの委託 道路や側溝をきれいにしたいという思いの表れ。草刈り機を購入するのも手だが、私有地や道路管理の観点から委託することも検討したい。 ・散策コースの整備 サイクリングロードやハイキングロードを提案して、地図などができれば地区を訪れる人を歓迎できるのではないかと。
委員 E	<p><寺尾地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館に憩いの場所を作る 幼稚園児や小学生が家族で気軽に公民館に出入りできるように、公民館に憩いの場所を作る。 本棚、絵本、塗り絵、昔話の本など、クーピー、昔の遊び道具（ベーゴマ、けん玉、おはじき）といったものを設置すれば、コミュニケーションの場ができるのではないかと。 ・地域の案内板の追加（5カ所） 以前、寺尾地区において設置実績があり、地域の方からも好評であった。まだ分かりづらいところがあるため、追加で設置する。 ・寺尾カルタを再び作る 栃木西部地域会議内において、3地区合同のカルタ大会を開催する話も出ているため、ベースを活かしもう一度カルタを作りたい。 ・栃木市出前講座の開催 栃木市出前講座を開催する。（筋力運動、脳卒中予防、熱中症予防） <p style="text-align: center;">—— フリートーク形式で意見交換 ——</p>
副委員長 A	<p>サイクリングロードと散策コースの意見は吹上地域で集まった時も同様の意見が出ていた。地域会議が始まった時から出ている意見であるが、地域会議として扱う予算としては適さないのではないかとということで、都度、不採用となっている。ただ、継続して要望を言い続けるというのは、ありだと思う。</p> <p>永野川が上流から寺尾、吹上、皆川と流れているので、自転車で行き来できるようにになれば、栃木西部地域として良いと思う。</p>

<p>会長</p>	<p>事務局は今回の会議の内容をまとめること。6月の会議で実施できそうな事業についてまとめていくこととする。</p> <p>(2) 令和4年度実施 栃木西部熟くり塾の事業内容について <説明></p> <p style="text-align: center;">—— 資料3に基づき説明 ——</p>
<p>委員F</p>	<p><寺尾地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3地域（寺尾、吹上、皆川）の自治会やまちづくり協議会において議題を決めてはどうか。 ・市の出前講座の利用の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> 災害について 高齢者の健康管理（あったかもちぎ体操） 空き家対策 栃木市の歴史や街づくり 地域福祉について
<p>副会長B</p>	<p><皆川地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・起震車体験 <ul style="list-style-type: none"> 体験型の防災訓練を提案したい。地震を体験できる車両を呼ぶ。
<p>副会長A</p>	<p><吹上地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3地区合同カルタ大会 <ul style="list-style-type: none"> 今年度、皆川地区において皆川カルタができるので、開催してはいかがか。 ・3地区にまつわる民話 ・スマホ教室 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が苦手と思われるスマホ操作を孫世代から教わる。 ・防災訓練
<p>事務局</p>	<p>起震車について、消防署に確認したところ、使用前日に県から地元消防署が借りてきて署にて保管するルールになっている。栃木消防署は建替えがあり、今年と来年の2年間は保管場所がないとのこと。そのため、起震車を呼ぶことはできない。</p> <p>10月23日（日）運動公園のサブグラウンドを予約してあるので、別のテーマで使うこともできる。</p> <p style="text-align: center;">—— フリートーク形式で意見交換 ——</p>

事務局

出た意見を基に委託先として考えている法人と相談しながら方向性を出していきたい。

4 その他

- ・会議資料のメール配信について
- ・令和4年度 栃木市地域自治交流会の開催について
- ・第3回栃木西部地域会議について
令和4年6月21日（火）皆川公民館にて開催予定

5 閉会

〈特に何も無いことを確認〉

—— 閉会 ——

(会議終了時刻 午後8時32分)

別紙1 出席者及び事務局

〈出席者（委員）〉

会 長	寺内 茂	副会長	酒卷 幸夫
副会長	中島 元一	委 員	門沢 イミ子
委 員	厚木 秀夫	委 員	正田 秀雄
委 員	石沢 恵一	委 員	羽金 勝子
委 員	鈴木 加織	委 員	峰岸 晃一
委 員	福島 恵子		
委 員	吉羽 克仁		

〈欠席者（委員）〉

委 員	関口 みよ子	委 員	棚橋 利行
委 員	吉田 美奈子		

〈事務局〉

栗田 寿樹	(栃木西部まちづくりセンター所長)
金子 博文	(皆川公民館館長)
篠崎 雅一	(寺尾公民館館長)
石沢 竜次	(吹上公民館主任)

〈その他出席者等〉

佐藤 澄江	(総合政策課副主幹)
岡 正美	(総合政策課主査)

別紙2 会議事項及び配付資料一覧

<会議事項>

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 情報提供

(1) (仮称) 第2次栃木市総合計画基本構想(素案)に関するパブリックコメントの実施について

4 議 事

- (1) 令和5年度実施 地域予算提案事業案について
- (2) 令和4年度 栃木西部熟くり塾の事業内容について

5 その他

- ・ 会議資料のメール配信について
- ・ 令和4年度 栃木市地域自治交流会の開催について
- ・ 第3回栃木西部地域会議について

5 閉 会

<配付資料一覧>

- ・ 令和4年度第2回栃木西部地域会議会議次第
- ・ (仮称) 第2次栃木市総合計画基本構想【素案】 資料1
- ・ 令和5年度実施分地域予算事業 提案内容検討資料 資料2
- ・ 栃木西部地域まちづくり塾(栃木西部熟くり塾)について 資料3